

あさひの
日常生活紹介
松山 喜子

Aさん(横地分類A1)は歌いかけをよく聞いています。特にテンポがよくリズムミカルで明るい感じの曲をよく聞く様子が見られます。「ビビディバビディブー」を歌いかけました。歌い始めると職員顔をチラッと見て反対側に顔を向けました。しかし歌っているうちに職員の方をチラチラと見て歌いかけを気にする姿

が見られるようになりました。「サラガドウラ」や「ビビディバビディブー」などという濁音が多く入った言葉が、聞き慣れない感じで気になりました。そのうち職員顔をじっと見ながら聞く様子が見られるようになりました。

歌の中で「すべてこの世は・・・」とそれまでと曲調が変わるところになると、おや?というような表情になり職員の口元をじっと見ながら聞いていました。そしてまた「ビビディバビディブー」と

横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。
例: A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

E6	E5	E4	E3	E2	E1	〈知的発達〉					
D6	D5	D4	D3	D2	D1	簡単な計算可					
C6	C5	C4	C3	C2	C1	簡単な文字・数字の理解可					
B6	B5	B4	B3	B2	B1	簡単な色・数の理解可					
A6	A5	A4	A3	A2	A1	簡単な言語理解可					
						言語理解不可					
						〈特記事項〉					
						C: 有意な眼瞼運動なし					
						B: 盲					
						D: 難聴					
						U: 両上肢機能全廃					
						TLS: 完全閉じ込め状態					
						寝返り不可					
						寝返り可					
						座位保持可					
						室内移動可					
						室内歩行可					
						戸外歩行可					

(移動機能)

「ねずみ経」の語りかけでは「むかしむかし」と静かに語り始めると、すぐにこちらに顔を向けて聞き始めました。「おたのみもうす」とばあさまとぼうさんの会話が始まると、目の動きが止まらじつと耳を澄ます様子が見られました。そして「おんちよろちよろ出てこれれそうろう」とねずみ経の部分になる



という言葉が出てくると口元が緩みました。繰り返し歌うと言葉自体のおもしろさに加え、繰り返しやテンポのよい歌のリズムを感じて、にこやかない表情が見られました。歌に合わせて、2拍子のリズムで一拍おきに手拍子をしました。顔を上げてさらに表情が緩みました。手拍子がよいアクセントになり、よりリズムのつて楽しめた様子でした。

「ねずみ経」の語りかけでは「むかしむかし」と静かに語り始めると、すぐにこちらに顔を向けて聞き始めました。「おたのみもうす」とばあさまとぼうさんの会話が始まると、目の動きが止まらじつと耳を澄ます様子が見られました。そして「おんちよろちよろ出てこれれそうろう」とねずみ経の部分になる

と顔を上げさらによく聞こうとしていました。真剣な表情で職員の顔をじっと見て、じつくり聞こうとしていた様子がわかりました。職員の少し違う声色や歌のようでありながらも抑揚のない流れるようなリズムがおもしろく感じたと思いました。繰り返しねずみ経が出てくると、徐々に気持ちも盛り上がり、表情も緩んでいきました。場面が変わってどろぼうが出てくる場面。「ぬきあし、さしあし、しのびあし」というフレーズで、真剣な表情に戻りました。それまでと違う緊張感もつたようです。そしてまた「おんちよろちよろ」というフレーズが出てくると、Aさんの口元がふっと緩みました。しかしねずみ経の繰り返しのリズムに加え、どろぼうの「しめしめ」という声を抑える感じや、「な、なんでわかるんだ」と自分の行動を当てられてびつくりしている会話にAさんの集中はより高まっている様でした。少し力を入れないながら、職員顔をじつと見て、口が動くこと言葉を見待つように口元を見ていました。「さてそんなことちつともしらないばあさま」と明るい感じの語り口調になると、Aさんの力も抜けました。歌



「おかん」という本の語りかけでは、関西弁のお母さんと息子の会話のやりとりをとてもよく聞いていました。始めは語りかけている方と反対の方に顔を向けじつと聞く様子はありませんでした。しかし、「なあおかん」という繰り返して出てくるフレーズやテンポよく行き交う会話に興味が出てきたようで、チラチラとこちらに目を向けるようになりました。おつきらぼうだけど何となく温かみがある関西弁の語りもおもしろかった様で、職員顔をじつと見て聞く姿も見られるようになりました。「ほんならママ」とおかんから呼び方が変わるところでは、にこっと大きく表情